

2025年11月発行



# 赤村 議会だより

FUKUOKA AKAMURA



目次

一般質問	2
第2回 赤村議会9月定例会	5
第2回 赤村議会9月定例会採決の状況	7
令和7年 第3回福岡県田川地区消防組合議会臨時会	8
令和7年度 田川郡東部環境衛生施設組合議会第3回臨時会	8
町村議会常任・議運委員長及び副委員長研修会	9
田川郡町村議会議長会視察研修	9
福岡県町村監査委員協議会総会	10
赤村監査委員の辞令交付、出席行事	10

## 吉武 洋子 議員



共交通機関の在り方等の方向性を協議中です。その為この問題を直ちに村の単独で解決は困難な状況です。法定協議会は、本年度中に一定の方針と目途が出ます。それを受け村として対応を考えたい。

問 平筑の利用の促進をする立場は十分承知しています。しかし、現状は足元の悪い高齢者が重い荷物を持ち駅の昇り降りは困難です。使い易く、生活し易い交通手段を、赤村独自に出来るよう進めて頂きたい。

問 買い物難民に対する行政サービスについてお尋ねします。

答 村内のある福祉施設では、月に数回送迎のない日中の時間帯に近隣のスーパーまでの送迎支援を行っています。この様な仕組みは出来ないですか。

中村 村長

答 高齢者免許証の返納による移動手段の確保や買い物難民・買い物弱者の方に対する問題を村の重要課題と位置付けています。村内では全ての日用品等を揃えられません。近隣市町村には様々な店舗があり、村独自のバスを走らせる事が出来れば、買い物難民の問題が一定程度解消します。田川地区定住自立圏協議会があり、その制定や平筑の法定協議会の関係で公

共交通機関の在り方等の方向性を協議中です。その為この問題を直ちに村の単独で解決は困難な状況です。法定協議会は、本年度中に一定の方針と目途が出ます。それを受け村として対応を考えたい。

問 「既存の政策の見直しと発展を図る」という村長の強い思いに期待しております。協議会でも困っている人の現状を伝えて頂きたい。

答 私も政策の中で謳つております。田川地区定住自立圏構想並びに平筑の法廷協議会との関係の中、確実に前に進めたい。しばらくお待ち頂きたい。

中村 村長

答 私も政策の中で謳つております。田川地区定住自立圏構想並びに平筑の法廷協議会との関係の中、確実に前に進めたい。しばらくお待ち頂きたい。

答 中村 村長

問 有害鳥獣対策について伺います。

神吉 産業建設課長

答 令和4年度鹿・猪は409頭捕獲、小動物合計533頭。令和5年度鹿・猪290頭、小動物合計486頭。令和6年度鹿・猪が476頭、小動物合計790頭。年々増えている状況。村として独自加算し獵友会の方に協力を頂いています。被害状況は農業共済データで令和4年度獣害農業被害58万円、令和5年度937万4千円、令和6年度767万3千円、捕獲頭数が少ない年は被害が大きい事

がデータからわかる。これは吉武議員が言われるよう、頭数を減らす事が一番の獣害被害の抑制になると思います。

問 道路の維持管理についてお尋ねします。通行安全確保作業員の姿を見ると感謝に堪えません。場所にいっては枝が生い茂り大型車とすれ違う時の危険性を感じる場面もあります。この様な場所を調査し計画的に剪定伐採を行い、通行の安全を確保する事が出来ないかお尋ねします。

中村 村長

答 道路の維持管理は村が委託した作業員が草刈りを順次実施しています。村内全域で可能な限り計画的に草刈りを実施し天候不順の問題で順序が変わることはあるが、計画的に実施が出来ています。通行に支障ある道路の連絡があつた場合には随時、計画の中に組み入れ対応をしています。

中村 村長

問 夏場ないし冬場の時期の、過酷な状況である時期に加算する考え方ありますか。

中村 村長

答 作業員の報酬・賃金に関する部分は具体的な中身はこの場では差し控えますが、神吉産業建設課長、寺田係長と協議をしています。

## 馬田 和博 議員



他の自治体では地域ボランティアの方々の姿を多く見かけるが、赤村でも学校と地域の連携・協働の仕組みづくりが必要だと思うが？

答 中村 村長

登下校の徒歩や自転車通

は健全な精神と体力を養う重要な手段であると考えてお

り、スクールバス単体での運

行は現時点では考えていない。

高齢者の買い物支援などデ

マンドバスとの関連も含めな

がら、村内全体での交通手段

の在り方を今後協議の場にの

せていただきたい。

はしないのか？

### 通学路の安全対策について

問 現在どのような取り組みを行っているのか。

答 中村 村長

教員による通学路の点検、

産業建設課と連携して、草刈

り・枝木の剪定、また、教育

委員会は青色防犯パトロール

車で上下校時の巡回活動、交

通ルールを学ぶための交通安全

全教室の実施・街頭指導、交

通安全週間を中心に交通安全

協会赤支部と協力し年4回実

施しながら、通学路の安全対

策に努めている。

### 教育における重要な課題

の一つであり、地域との連携・

協働、ボランティアの要請育

成に積極取り組んで行きたい。

### 意見 スクールガードリーダーの

育成や組織づくりをするた

めの補助金なども活用しながら

地域全体で子ども達を育てる環

境づくりをしていただきたい。

### 意見 全国のスクールバスの活動

状況を見てみると色々な

ケースがあり、村長が言われた

健全な精神と体力を養う手段の

一つで2キロ先にスクールバス

を止めて上下校するような取り

組みを行つてている自治体なども

あります。

は健全な精神と体力を養う手段の

一つで2キロ先にスクールバス

を止めて上下校するような取り

組みを行つている自治体なども

あります。

は健全な精神と体力を養う手段の

大場謙一議員



議会ですので村長の基本的な考え方についてお尋ねします。

「教育」「農業」「村全体の振興」を訴えていますが、何をどのように変革して、どのような「村の未来」を描いているのかお尋ねします。

答 中村 村長

農業については村の基幹産業として位置付けされております。安定した持続可能な農業に必要な物は大きく水、物、人の3つと考えている。老朽化した水路の計画的改修をはじめとする水の確保、

農機具や各種資機材の購入等に要する費用の補助政策の強化、未来の赤村を見据えた必要不可欠な人材育成と考へております。役場担当課と現在農業を営んでいる多くの方を交えて、具体的な問題点や将来展望について積極的に議論する場を設けて政策に反映させたい。

答 中村村長 端的に教育が大切と考えている。すべての行政政策や事務事業、これらの継続・継承・発展は全て教育が基本と考えている。  
問 教育という考え方は共感するので頑張つてほしい。小規模自治の推進について、現在7つある行政区に所属していない住民対策についてのお考えは。

人員の中で一生懸命業務をこなしているが、改善すべき点や改善が可能な点も理解している。再度事務事業の洗い出しを行い、無駄を省いて参りたいと考えている。職員の窓口対応、電話の対応など多くの意見を頂いている、又職員の身なりや言葉遣いなど再度周知指導を詰つたところです。

「未来に責任をとる行政」と訴え  
村長に就任されました。若いリード  
ナーの誕生に多くの村民がその手  
腕に期待しております。初めての

問 「教育」「農業」「村全体の振興」を訴えていますが、何をどのように戸別して、どのような「村の未来」を描いているのかお尋ねします。

観光策の推進、ふるさと納税の推進、高齢者に対する政策の4点を考えている。7つの行政区に、それぞれ特徴を生かし自由度の高い運営が行えるよう新たな補助制度を考えている。

答 中村村長 人口減少や行事等への参加離れ、今言われるようく、区や隣組に所属していない住民の方が増えたという問題もある。こうした

答 中村 村長 住民の声として、副村長を何故おかないのかという声を聞きます。私も村政を円滑に執行していく中で副村長は必要だと考えますが村長の考え方をお伺いします。

答  
中村村長

農業については村の基幹産業として位置付けされております。安定した持続可能な農業に必要な物は大きく水、物、人の3つと考えており、老朽化した水路の計画的改修をはじめとする水の確保、

教育については諦めないで根気よく未来に向けて種を播く事が大切だと考える。

ルをトップセールスで行う。既存の施設源じいの森温泉や特産物センターの効率的かつ一体的な運用の在り方を検討したい。

問題が原因で、行政区の収入も減額し活動に支障が出ているという話も聞いている。先ずは金額面から行政区に対する補助を行い行政区の運営が出来るようになって行きたい。

**答** 副村長は必要であると考えています。  
できるだけ早く選任し議会に提案して頂きたい。

**答** 中村 村長 農業については村の基幹産業として位置付けられております。安定した持続可能な農業に必要な物は大きく水、物、人の3つと考

**問**多くの村民から、新村長誕生に「わくわく」しているとの声を聞きます。限られた予算の中、多くの課題がありますが、最優先課題は何でしょうか。

答　昨年末までは私も役場職員として働いていた。皆さん少ない

了 した。自分の足元である職員  
を含めた行政組織をどのように感じ、又どのような組織を目指すのかお尋ねします。

言葉がありました。そのあとに「どうしたらできるのか」を加え村民の先頭に立つて頑張っていただきたい。最後にエールを贈り質問を終わります。

# 第2回 赤村議会9月定例会

期日/令和7年9月10日～16日

令和7年度 第2回赤村議会9月定例会は、9月10日に招集及び開会し、議長報告、村長報告、村事務報告、教育委員会事務報告、一般質問が行われた後に、請負契約の締結に関する案件1件、条例の一部改正に関する案件5件、補正予算2案件、決算の認定案件5件、議員発議1案件、監査委員の選任1案件の合計15案件が提出され、慎重審議を行った結果、全案件可決、認定及び同意して9月16日に閉会しました。

議案等番号	件名	内容	結果
報告第4号	令和6年度赤村財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項目の規定により、令和6年度赤村財政健全化判断比率及び資金不足比率を監査委員の意見をつけて議会に報告するもの。	
議案第30号	赤中学校屋内運動場空調設置工事請負契約の締結について	1 契約の目的…赤中学校屋内運動場空調設置工事 2 契約の方法…指名競争入札による契約 3 契約金額…83,567,000円(税込) 4 契約の相手方…福岡県田川郡赤村大字内田2223番地81 和廣総業 代表 春本 和彦	
議案第31号	赤村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律に規定する標準化基準に適合した基幹系業務システムに実装される「住登外者宛名番号管理機能」を用いて行う事務に関する規定の整理を行うため、この改正を行うもの。	
議案第32号	赤村議會議員及び赤村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	公職選挙法施行令の一部を改正する政令が、令和7年6月4日に施行されたことに伴い、赤村議會議員選挙及び赤村長選挙における選挙運動の公費負担に関する規定の見直しを行うため、この改正を行うもの。	
議案第33号	赤村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が令和7年10月1日に施行されることに伴い、この改正を行うもの。	
議案第34号	赤村一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律が令和7年10月1日に施行されることに伴い、この改正を行うもの。	
議案第35号	赤村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	災害等の非常時、村の給水装置工事事業者の確保が困難となつた場合、他市町村が指定した給水装置工事事業者による工事の実施を可能にするため、この改正を行うもの。	
議案第36号	令和7年度赤村一般会計補正予算(補正第2号)	47,966千円増額し、歳入歳出それぞれ7,072,363千円とする。 主な補正内容は、令和6年度後期高齢者医療療養給付費負担金確定に伴う精算負担金の増、J-ALERT新型受信機更新工事費の増、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業(公民館及び集会所等、源じいの森施設内LED化照明改修事業)費補助金の増、大雨に伴う災害復旧事業の増、小中一貫型赤小学校・赤中学校建設用原材料費の増、文化祭委託業者の一本化に伴う屋外イベント運営業務委託料の増、会計年度任用職員報酬の増 歳入については、国県支出金、教育施設等整備基金及び森林環境譲与税等基金繰入金、災害復旧事業債及び緊急防災・減災事業債、地方交付税の一般財源	可決
議案第37号	令和7年度赤村簡易水道事業会計補正予算(補正第1号)	水道事業を運営するための予算(収益的収支)は、支出が240千円増額。 主な補正の内容、水番作業委託料の計上。	

議案等番号	件名	内容	結果
認定第1号	令和6年度赤村一般会計歳入歳出決算の認定について	予算額…6,666,728,000円 歳入決算額…6,133,301,215円 歳出決算額…5,985,695,147円 差引き残高…147,606,068円  繰越明許費(3件) 26,483,000円 実質収支額 121,123,068円	
認定第2号	令和6年度赤村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予算額…350,256,000円 歳入決算額…357,594,003円 歳出決算額…324,478,352円 差引き残高…33,115,651円	
認定第3号	令和6年度赤村住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算額…20,734,000円 歳入決算額…1,329,200円 歳出決算額…19,382,122円 差引歳入不足額…18,052,922円(繰上充用)	
認定第4号	令和6年度赤村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予算額…59,981,000円 歳入決算額…59,578,661円 歳出決算額…59,539,731円 差引き残高…38,930円	
認定第5号	令和6年度赤村簡易水道事業利益剰余金の処分及び決算の認定について	1. 収益的収入及び支出 (1) 収益的収入 予算額…106,378,000円 決算額…115,031,660円 予算額に比べ決算額の増減…8,653,660円 (2) 収益的支出 予算額…97,343,000円 決算額…95,534,575円 不用額…1,808,425円  2. 資本的収入及び支出 (1) 資本的収入 予算額…194,251,000円 決算額…175,731,909円 予算額に比べ決算額の増減…△18,519,091円 (2) 資本的支出 予算額…145,734,000円 決算額…128,787,192円 不用額…16,946,808円  3. 特例的収入及び支出 (1) 特例的収入 予算額…3,569,000円 決算額…3,568,220円 予算額に比べ決算額の増減…△780円 (2) 特例的支出 予算額…1,633,000円 決算額…1,632,682円 不用額…318円	認定
発議第6号	赤村議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	反問権及び反論権を付与することにより、質問・質疑を行う者と答弁する者の議論の論点・争点の明確化が期待される。 また、質問の質の高まりは、政策的な議論を深め、議論の活性化が図られることは、議員個々の更なる資質向上にもつながり、もって議会力の向上に寄与することが期待できることから、この改正を行うもの。	可決
同意第3号	赤村監査委員の選任につき同意を求めることについて	赤村監査委員(議会選出)が不在であるため、新たに大場謙一氏を選任したいので、議会の同意を求めるもの。	同意

## 第2回 赤村議会9月定例会採決の状況

○…賛成 ×…反対 欠…欠席

番 号	議 案 名	結 果	議 員 の 賛 否								
			小林 裕治	春本 雪夫	中村 勇紀	原 隆康	大場 謙一	浦野 良一	馬田 和博	吉武 洋子	春本 敏典
議 案 第30号	赤中学校屋内運動場空調設置工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第31号	赤村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第32号	赤村議会議員及び赤村長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第33号	赤村職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第34号	赤村一般職の職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第35号	赤村水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第36号	令和7年度赤村一般会計補正予算(補正第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議 案 第37号	令和7年度赤村簡易水道事業会計補正予算(補正第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 1 号	令和6年度赤村一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 2 号	令和6年度赤村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 3 号	令和6年度赤村住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 4 号	令和6年度赤村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認 定 第 5 号	令和6年度赤村簡易水道事業利益剰余金の処分及び決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発 議 第 6 号	赤村議会基本条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同 意 第 3 号	赤村監査委員の選任につき同意を求めることがあります。	同意	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○

※大場謙一議員は、同意第3号に関しては本人に関係する議案であるため除斥となります。

※赤村議会だより8月号賛否について、吉武洋子議員は同意第2号では、本人に関係する議案であったため、除斥となっていましたが、賛成(○)と掲載されていました。大変申し訳ありませんでした。

## 総務文教 常任委員会報告

委員長

馬田 和博



本定例会において、総務文教常任委員会に付託された案件を慎重に審議した結果を報告します。

議案第36号、令和7年度赤村一般会計補正予算補正第2号は全員一致をもって可決することに決定しました。

次に、認定第1号、令和6年度赤村一般会計歳入歳出決算の認定は、全員一致をもって認定することと決定しました。

## 産業経済厚生等 常任委員会報告

委員長

中村 勇紀



本定例会において、産業経済厚生等常任委員会に付託された案件を慎重に審議した結果を報告します。

議案第37号、令和7年度赤村簡易水道事業会計補正予算補正第1号は全員一致をもって可決することに決定しました。

認定第2号、令和6年度赤村国民健康保険特別会計歳入歳出決算、認定第3号、令和6年度赤村住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算、認定第4号、令和6年度赤村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、認定第5号、令和6年度赤村簡易水道事業利益剰余金の処分及び決算の認定については、全員一致をもって認定することと決定しました。

## 令和7年 第3回福岡県田川地区消防組合議会臨時会

( 大場謙一議員 出席 )

9月24日(水)に田川地区消防本部で開会され、下記議案について、慎重審議の結果、すべて原案のとおり同意及び可決されました。

### 議案第18号 第1号副管理者の選任について

福岡県田川地区消防組合副管理者のうち、関係市町村の長である組合議員のうちから選任する第1号副管理者に香春町長 鶴我繁和氏を選任することについて、福岡県田川地区消防組合規約の規定により、議会の同意を求めるもの。

### 議案第19号 令和7年度福岡県田川地区消防組合一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ66,118千円を増額し、歳入歳出予算総額を4,357,487千円とするもの。

歳入については、財政調整基金繰入金及び消防施設整備事業債の増額、歳出については、測量造成工事の増額。

## 令和7年度 田川郡東部環境衛生施設組合議会第3回臨時会 ( 中村勇紀議員、馬田和博議員 出席 )

9月24日(水)にさくら環境センターで開会され、下記議案について慎重審議の結果、原案のとおり可決されました。

### 議案第9号 令和7年度田川郡東部環境衛生施設組合一般会計補正予算(第2号)を定めることについて

歳入歳出予算の総額を37,000千円増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ113,398千円とするもの。

未処理ごみや焼却灰を最終処分場に運搬するための委託料及び最終処分場の整備に係る費用等を補正するもの。

## 町村議会常任・議運委員長及び副委員長研修会

福岡県町村議会議長会主催の研修会が8月27日(水)に福岡国際会議場(福岡市)で開催され、馬田和博議員、中村勇紀議員、小林裕治議員と春本雪夫議員が出席しました。

元全国都道府県議会議長会事務局次長 内田一夫氏を講師に迎え、「委員会の役割と進め方について」と題した講演を聞くことができました。

常任委員会と議会運営委員会の役割や必要性、委員会の特徴を活かした議案審査の手法等、多岐に渡り委員会制度の基礎を説明いただき、また各委員会委員長の心得や権限についても実際の判例を基に詳細な説明をしていただきました。

今後の議会運営・常任委員会活動を行う上で大変参考になりました。



## 田川郡町村議会議長会視察研修

田川郡町村議会議長会(畠田勝廣会長[添田町議会議長])視察研修が9月30日(火)から10月2日(木)にかけ北海道帯広市他で行われました。

帯広市では、不登校児童生徒に対する学びの機会を確保するために設置されている「教育支援センターひろびろ」と「ひろびろチョイス」の概要について説明を受けました。

「ひろびろチョイス」では、仮想空間の教室に自分の分身となるアバターが登校し、その仮想空間の中で他の子どもたちとお互いの交流を深め、つながることや学びのメニューを自分で選び学習するというこの取り組みを実施していました。

現代の児童生徒はオンラインゲーム等に触れる機会も多いことから、このシステムへの入り口は興味を引くものとなっており、実際にはこのシステムを抵抗なく利用し、その家族も良い方向に児童生徒の意識の変化を感じているとのことでした。

全国的に不登校児童生徒数は増加しており、今後は赤村でも様々な取り組みが必要になってくる可能性があることから、今回の視察研修は大変有意義なものとなりました。



## 福岡県町村監査委員協議会総会

福岡県町村監査委員協議会総会が8月8日(金)に福岡県自治会館で開催され、太田壽代表監査委員が出席しました。

総会では、令和6年度福岡県町村監査委員協議会歳入歳出決算の認定、福岡県町村監査委員協議会会則の一部改正及び新規役員の承認について審議され、すべての議案が可決・承認されました。

また、総会終了後には、静岡県富士市監査委員事務局長 吉野貴雄氏を講師に迎え「監査の着眼点と実務のポイント」と題し研修会が行われました。自治体監査に関するいくつもの著書を執筆されている吉野氏は、監査を行う上で重要となる知識や具体的に確認しなければならない事項等について、すぐに実践できる事例等を交えながら詳細に説明いただきました。今後の監査に活用できることも多く、大変有意義な研修となりました。



## 大場謙一監査委員の辞令交付

赤村監査委員(議会選出)が不在であったため、9月16日、新たに大場謙一氏が議会議員の中から監査委員に選任されました。

赤村の事務の管理及び執行等が正確で経済的・効率的かつ効果的に実施されているか、これまでの経験を活かし、誠実かつ厳正に、職務を遂行してまいります。



### 赤村議会議員 9月 出席行事

- 2日 議会運営委員会(住民センター)
- 10日～16日 第2回赤村議会定例会(議場 他)
- 13日 赤村敬老会(村内)
- 22日 例月出納検査・監査(住民センター)
- 24日 福岡県田川地区消防組合議会臨時会(田川市)
  - 大場謙一議員出席
  - 田川郡東部環境衛生施設組合議会臨時会(大任町)
    - 中村勇紀議員、馬田和博議員
    - 大場信司議員出席
- 30日～10月2日 田川郡町村議会議長会視察研修
  - (北海道帯広市 他)

### 赤村議会議員 10月 出席行事

- 9日 田川地区斎場組合議会臨時会(大任町)
  - 小林裕治議員出席
- 10日 築城墓地追悼式(築上町)
- 14日 議会臨時会(議場 他)
  - 議会広報委員会(住民センター)
- 21日 例月出納検査・監査(住民センター)
- 23日 人権・同和問題研修会(田川市)
- 27日 議会臨時会(議場 他)

### 赤村議会議員 11月 出席行事予定

- 5日 田川地区暴力団等追放総決起集会(川崎町)
- 6日 町村議会広報研修会(福岡市)
- 7日 京都郡町議会議員研修会(行橋市)
- 8日 赤村文化祭(村内)
- 9日 赤村トロッコの会納会(村内)
- 12日 町村議會議長全国大会(東京都)
- 19日 例月出納検査・監査(住民センター)
- 21日 田川郡町村議會議長会議員研修会(川崎町)
- 26日～27日 赤村議會議員視察研修(大分県国東市)

### 赤村議会議員 12月 出席行事予定

- 上旬 赤村議会定例会
- 22日 例月出納検査・監査(住民センター)

